

第35回九州支部発表会 プログラム				開始時刻	配分時間	
	開会の挨拶			11:00	0:05	
セッションⅠ	1	佐々木 大成	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	ビデオゾンデ観測で得られた冬季北陸雪雲の微物理的・電氣的構造	11:05	0:15
	2	吉住 蓉子	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	冬季南岸低気圧の発達初期段階における雲システムの微物理的・電氣的構造	11:20	0:15
	3	井上 拓也	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	冬季の降水雲再現の雲微物理パラメタリゼーション依存性	11:35	0:15
	昼食休憩			11:50	1:10	
	支部奨励賞贈呈式			13:00	0:05	
特別講演		堤 之智	熊本地方気象台(台長)	対流圏の大気環境研究の一側面	13:05	0:40
	休憩(5分)			13:45	0:05	
セッションⅡ	4	的場 徹	九州大学理学部地球惑星科学科	春季先島諸島周辺におけるニンジン状雲の発生メカニズム	13:50	0:15
	5	河田 雅生	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	下層水平風の鉛直シア変化に対するスコールラインの応答	14:05	0:15
	6	本田 匠	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	2013年9月に関東地方で発生した竜巻の数値実験	14:20	0:15
	7	尾堂 深南	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	2次元乱流のupward cascadeとRhines効果における渦と渦の相互作用の役割	14:35	0:15
	休憩(10分)			14:50	0:10	
セッションⅢ	8	木村 誠治	福岡管区気象台気象防災部予報課	夏季の熱的収束を発生要因とした降水時における環境場の特徴	15:00	0:15
	9	長田 栄治	福岡管区気象台気象防災部予報課	平成25年7月3日の福岡県の大雨について	15:15	0:15
	10	用貝 敏郎	福岡管区気象台気象防災部	平成24年7月九州北部豪雨の事例解析 その2 一気象庁メソ客観解析を基に、12日の豪雨要因を探る一	15:30	0:15
	11	中矢 清一	福岡航空測候所予報課	2012年2月28日の福岡空港における大雪について その2 一JMANHMIによる下層寒気の考察一	15:45	0:15
	休憩(10分)			16:00	0:10	
セッションⅣ	12	半田 太郎	九州大学理学部地球惑星科学科	衛星データから見たオゾン量の経年変動と力学場の関係	16:10	0:15
	13	高倉 寿成	九州大学理学部地球惑星科学科	台風による水蒸気輸送の季節・経路別の特徴	16:25	0:15
	14	清水 宏幸	九州大学理学部地球惑星科学科	日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)とその近傍における低気圧活動の関係	16:40	0:15
	15	平田 英隆	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	領域大気海洋結合モデル(CReSS-NHOES)による2013年1月の爆弾低気圧の再現実験	16:55	0:15
	16	川野 哲也	九州大学大学院理学府地球惑星科学部門	2013年3月2日道東地方に暴風雪被害をもたらした爆弾低気圧の数値シミュレーション	17:10	0:15
	閉会の挨拶			17:25	0:05	
	終了			17:30		

※各講演者(特別講演はのぞく)の持ち時間は15分間(講演時間12分、質疑応答3分)です